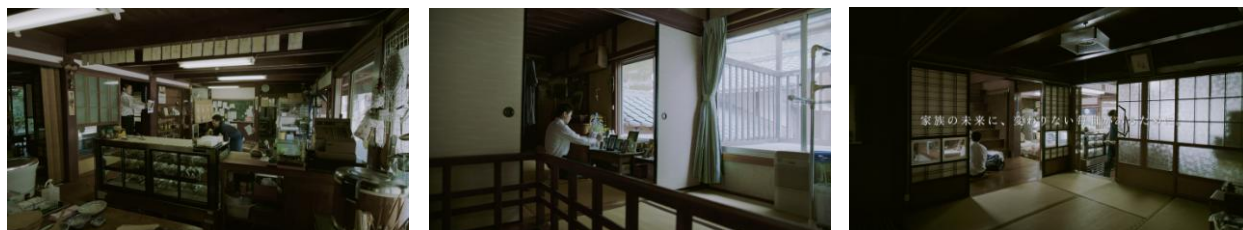


「ある家族」の物語 「dear my family」シリーズ第三弾 新TVCM 「dear my family 2016」篇 完成

平成28年7月25日(月)より全国にて放映開始



『dear my family 2016』篇 (60秒、30秒)

住友生命保険相互会社(社長 橋本雅博)は、新TVCM「dear my family 2016」篇を、平成28年7月25日(月)より全国で放送いたします。本CMは当社提供番組にて順次放映していく予定です。



■ CM企画意図

「大切なご家族を失うこと」。生命保険事業の本質に関わることでありながら、これまで生命保険のCMで取り上げられることがほとんどなかったテーマに正面から向き合いました。

生命保険にご家族を失った悲しみを癒す力はありません。でも遺されたご家族の生活を守り、支えになることはできます。

この「生命保険の使命」を表す言葉として、住友生命の社内に脈々と受け継がれている言葉があります。昭和41年、当時の社長(故新井正明)が新聞記者に「生命保険の意義を一言で表すと？」と問われて答えた「悲しみと共に貧しさが訪れないように」という言葉です。

生命保険のこの「使命」を、現代的な表現にあらためた「家族の未来に、変わらない毎日があるために。」というメッセージに託して、企業CM「dear my family」のシリーズ第三弾を制作しました。今回の撮影地は四国のある町。シリーズではじめて地方の家族を題材にすることで、全国津々浦々で、生命保険がその使命を果たしている姿を描いております。

本CMを通じて、あらためてお客さまがご家族への想いを深め、それを支える保険の大切さに気付いていただくきっかけになればと考えております。

<過去シリーズの受賞歴>

- ・dear my family : 第51回 ギャラクシー賞「CM部門 選奨」受賞
- ・dear my family 2015 : 第52回 ギャラクシー賞「CM部門 選奨」受賞
- ・dear my family、dear my family 2015 : 第55回 ACCフィルム部門A「ACCゴールド」受賞

■ CMストーリー

四国のとある町に住む家族の、ある一日の風景。

部活から帰宅した弟と実家の米穀店を継いだ兄の会話。配達から戻った母も加わった3人の家族。

弟：「ただいま」

兄：「おう」

弟：「母ちゃんは？」

兄：「配達じゃ。もう帰ってくるじゃろ」



弟がなにやらバッグから取り出して、働く兄に話しかける。

弟：「兄ちゃん」

兄：「ん？」

弟：「もろうた、背番号」



広げたのは「14」番の背番号。

兄：「おう、親父に言うときよ」

弟：「後でな」

兄：「今しとけ。楽しみにしとんじゃけえ」



背番号を手に階段を上り、机の上の父の写真に向かう弟。
父親の写真に向かって胸を張って堂々と背番号を見せる。

母：「ただいま」

兄：「おかえり。ユウジ、背番号もろうたんじゃて」

母：「ありゃあ、すげえがあ」

居間へ降りてきた息子の背番号を手にとって見る母。

母：「どけえ、見してみ。お父さんと試合見に行かあよお」

弟：「たぶんベンチじゃけど」

母：「あんたがユニフォーム着とりゃあせーでええんじゃ」



兄が店のおにぎりを持ってくる。

食卓に集まる家族。

兄：「お祝いじゃ」

弟：「おにぎりかよ」

兄：「文句言うなよ」

そこにタイトルが浮かび上がります。

家族の未来に、変わらない毎日があるために。

家族の未来に、変わらない毎日があるために。

